



月報だよりの原稿は毎月 20 日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。e-mail で jim@geppou.asj.or.jp 宛。
 なお、原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 迄お送り下さい。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

立教大学理学部物理学科助手

1. 助手 1 名
2. (1) 立教大学理学部物理学科
(2) 東京都豊島区西池袋
3. 宇宙物理学の理論的研究
4. 上記研究および学部、大学院の教育。なお当学科には理論物理学研究室に柴崎徳明、須佐 元が在籍しており、これらの教員と有機的な連携を保ちつつ研究を遂行できる方を望む。
5. (1) 2004 年 4 月 1 日
(2) 1 年 ただし 1 年毎に最大 2 回の更新で 3 年まで延長可能
6. 着任時に博士号を取得済であり、35 歳未満で、情報教育に携われる方。
7. (1) 履歴書、(2) 業績リスト、(3) 主要論文別刷 5 編以内、(4) 現在までの研究概要（1500 字以内）、(5) 研究計画書（1500 字以内）、(6) 推薦書または照会可能者の氏名と連絡先
8. 2003 年 9 月 27 日(土) 必着
9. (1) 〒 171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1
立教大学理学部物理学科長 柳町朋樹
(2) 同学科 須佐 元
Tel: 03-3985-4541
E-Mail susa@rikkyo.ac.jp
10. 封筒に「物理学科助手応募書類在中」と朱書し、

簡易書留で送付のこと。応募書類の返却を希望する人は、返信用封筒を同封のこと。

11. 給与は月額 40 万円程度を供する。

研究助成

(財) 宇宙科学振興会

平成 15 年度宇宙科学研究助成候補者募集

(国際研究集会参加費支援)

(財) 宇宙科学振興会（理事長 武井俊文）では、下記の参加希望者を募集します。関心のある方は募集要項・申請書の詳細を以下の財団ホームページでご覧頂くか、財団までご請求・お申し込み下さい。

1. 助成対象：宇宙理学（地上観測を除く）及び宇宙工学（宇宙航空工学を含む）に関する独創的・先駆的な研究活動を行う若手研究者（昭和 43 年 4 月 2 日以降生まれの者に限る）で、国際研究集会で論文発表が原則として確定している者。但し論文発表採択が未確定の場合でも申請できますが論文発表が条件となります。なお、大学・研究機関等所属長の承諾を得て応募して下さい。
2. 援助金額：1 採択当たり約 15 ～ 20 万円
3. 申込受付時期：随時受け付けますが、次の締切りに間に合うようお願いします。
 11 月 1 日以降出発者については
 9 月 15 日
 3 月 1 日以降 6 月末迄の出発者については
 1 月 15 日
4. 採択件数：年間 10 ～ 15 件程度
5. 照会先：(財) 宇宙科学振興会事務局
 Tel: 042-751-1126
 〒 229-8510 神奈川県相模原市由野台 3-1-1
 文部科学省 宇宙科学研究所内
 URL <http://www.spss.or.jp/>
 E-mail zaidan@spss.or.jp

会務案内

【2003 年度秋季通常総会開催のお知らせ】

正会員各位

社団法人 日本天文学会 理事長 松田卓也

— 綴じ込みの返信用葉書で9月19日(金)
までに到着するようご投票を！ —

下記の通り 2003 年度秋季通常総会を開催いたしますので、ご出席下さるようご案内申し上げます。総会は本会の最高決定機関で、総会成立には正会員の5分の1以上の出席が必要です(定款第42条)。欠席される場合には、下記の議案をよくお読みの上、次の(1)または(2)のどちらかの対応をして下さい。いずれの場合も、総会出席とみなされます。

- (1) 綴じ込みの総会返信用葉書(以下「葉書」と呼ぶ)を用いて賛否の意志を表明する。
- (2) 他の出席予定者の正会員に表決権の行使を委任する。「葉書」は、9月19日(金)までに天文学会事務所に到着するように投函して下さい。「葉書」には切手を貼る必要はありません。

○「投票および委任状の書き方」

総会に出席できない正会員は、綴じ込みの総会返信用「葉書」で議案に対する賛否の意志表示をするか、委任状を提出して下さい。(委任状にはとくに指定の用紙はありません。)

賛否の意志表示をされる方は、それぞれの議案について「賛成」、「反対」のいずれかを○で囲んで下さい。賛成・反対以外にご意見があれば、所定の欄に記入し、書ききれないときは別紙に書いて事務所宛にお送り下さい。

なお、次の投票は無効となり、出席会員数に数えられません。

- 1) 所定の「葉書」を用いないもの。
- 2) 会員番号、住所(または勤務先)の両方を欠くもの。
- 3) 氏名を自署していないもの。
- 4) 投票権のない者からの投票(正会員以外の者)。
- 5) 2重投票。

次の票は出席会員数には入れるが、棄権票として扱います。

- 1) 賛成、反対の意思表示をせず、意見だけを書いた票。

- 2) 白票。

委任状については、次の場合に無効となります。

- 1) 委任正会員の氏名、自署、捺印のいずれかを欠くもの。
- 2) 委任正会員の会員番号、住所(または勤務先)の両方を欠くもの。
- 3) 被委任正会員の氏名を欠くもの。
- 4) 被委任正会員が総会に出席しない場合。
- 5) 被委任正会員として、単に役職名の“理事長”または“議長”と書かれたもの。

○ 2003 年度秋季通常総会

日時：2003年9月26日(金)

総会出席者確認：16時30分～17時00分

総会開始 17時00分～

場所：愛媛大学城北キャンパス

共通教育講義棟大講義室(A会場)

注意：総会出席確認作業の時間中に会場へ入場して下さい。確認された方には表決の時に必要な札をお渡しします。

○ 議案と報告(本誌 511 頁から 514 頁迄参照)

議案：

第1号議案 2004年度事業計画(案)

第2号議案 2004年度収支予算(案)

第3号議案 第15期評議員候補者

報告：

(1) 創立100周年記念出版事業編集委員4名増員の報告

(2) 要望書一天文学に関する社会教育施設の充実—

(3) その他

[第1号議案]

日本天文学会 2004 年度事業計画(案)

(2004年1月1日～2004年12月31日まで)

1. 出版物の刊行
 - 1) 欧文研究報告
第56巻1号～第56巻6号(増刊1号, 2号を予定), 隔月刊, A4版, 発行部数1,800, 年間1,200ページ
 - 2) 天文月報
第97巻1号～第97巻12号, 月刊B5版, 発行部数3400, 毎号52ページを予定
 - 3) 年会講演予稿集
春・秋季年会の講演予稿集2巻, 発行部数各850を予定
 - 4) ジュニアセッション予稿集
春季年会予稿集発行部数500を予定
 - 5) 公開講演会冊子
春秋の公開講演会に配付する冊子各500部
2. 年会・総会の開催
 - 1) 春季年会を2004年3月22日(月)から24日(水)にわたって, 名古屋大学(開催地理事: 佐藤修二)にて開催する. 年会期間中に通常総会とジュニアセッション及び天文教育フォーラムを開催する. また, 公開講演会を3月21日(日)に予定.
 - 2) 秋季年会を2004年9月21日(火)から23日(木)にわたって, 岩手大学(開催地理事: 花見仁史)がホストになって, 岩手大学を会場として開催する. また, 年会期間中に通常総会を開催する. 公開講演会は9月20日(月・祝日)に予定.
3. 評議員会, 理事会
 - 1) 評議員会: 1月中旬, 7月中旬および春・秋季年会中に開催予定
 - 2) 理事会: 1月上旬, 7月上旬および春・秋季年会中に開催予定
4. 各賞の授与
 - 1) 天体発見賞・天体発見功労賞
新天体の発見者に対して天体発見賞・天体発見功労賞を授与する.
 - 2) 日本天文学会研究奨励賞
特に顕著な研究成果を挙げた若手研究者(3名以内)を選定し研究奨励賞を授与する.
 - 3) 日本天文学会林忠四郎賞
天文学の分野において独創的で, かつ分野に寄与するところの大きい研究に対して林忠四郎賞を授与する.
 - 4) 日本天文学会欧文報告論文賞
日本天文学会欧文報告に掲載された論文の中から, 特に優れた論文の著者に対して欧文報告論文賞を授与する.
 - 5) 日本天文学会天文功労賞
天体観測活動などが, 天文学の進歩及び普及に寄与したことに對して授与する.
5. 助成金
 - 1) 内地留学奨学金受給者の募集(主にアマチュアを対象)を行い, 年内に選考し奨学金を支給する.
 - 2) 早川幸男基金により, 若手天文研究者の海外に於ける観測, 国際共同研究, もしくは研究発表のための渡航費の援助を行う.
 - 3) 賛助会員会費により, 学生等の年会(春秋)発表者の旅費補助をする.
6. 各種委員会
 - 1) 欧文研究報告編集顧問: 10名
 - 2) 欧文研究報告編集委員会: 8名
 - 3) 天文月報編集委員会: 8名
 - 4) 年会実行委員会: 9名
 - 5) 天文教育委員会: 9名
 - 6) 選挙管理委員会: 5名
 - 7) 林忠四郎賞選考委員会: 6名
(欧文報告論文賞を含む)
 - 8) 研究奨励賞選考委員会: 5名
 - 9) 天体発見賞選考委員会: 5名
(天文功労賞を含む)
 - 10) 内地留学奨学金選考委員会: 5名
 - 11) 早川幸男基金選考委員会: 5名
 - 12) ネットワーク委員会: 3名
 - 13) 天文教材小委員会: 8名
 - 14) 創立100周年記念出版編集委員会: 17名
7. 後援事業
 - 1) 他の学術団体等の天文関係諸企画に対して, 可能な限り後援・協賛をする.
8. その他
 - 1) 平成17年度科学研究費補助金審査委員候補者の推薦
 - 2) 民間財団等の, 研究助成公募および天文学に関連した賞に対して, 優れた研究者を学会から積極的に推薦する.

以上

[第2号議案]

日本天文学会2004年度収支予算(案)

2004年1月1日～2004年12月31日

《一般会計》

[収入の部]

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額
基本財産運用収入	4,000	15,000
基本財産利息収入	4,000	15,000
会 費 収 入	35,270,000	34,370,000
正会員会費	21,060,000	20,160,000
正会員(学生)会費	4,160,000	3,770,000
準会員会費	9,600,000	10,000,000
団体会員会費	450,000	440,000
事 業 収 入	25,665,800	28,117,000
欧文研究報告発行事業収入	14,065,800	15,767,000
購 読 料	4,258,800	3,799,000
掲 載 料	7,791,000	7,568,000
別 刷 代	2,016,000	4,400,000
天文月報発行事業収入	3,800,000	4,700,000
購 読 料	800,000	800,000
別 刷 代	1,000,000	1,200,000
広 告 料	2,000,000	2,700,000
年会事業収入	7,800,000	7,650,000
予稿集頒布収入	2,600,000	2,400,000
登録料収入	5,100,000	5,000,000
年会雑収入	100,000	250,000
補助金等収入	8,520,000	8,630,000
刊行物補助金	7,200,000	8,000,000
公開講演会補助金	1,320,000	630,000
寄 付 金 収 入	150,000	150,000
寄付金収入	150,000	150,000
印 税 収 入	2,005,000	1,050,000
星座早見印税	2,000,000	1,000,000
その他の印税	5,000	50,000
雑 収 入	703,000	1,010,000
受取利息	3,000	10,000
特別企画収入	500,000	500,000
その他の収入	200,000	500,000
特定預金取崩収入	0	0
減価償却預金取崩	0	0
退職預金取崩	0	0
当期収入合計(A)	72,317,800	73,342,000
繰越収支差額	22,550,803	18,709,579
収入合計(B)	94,868,603	92,051,579

科 目	予 算 額	前年度予算額
事 業 費	49,270,000	53,663,000
欧文研究報告発行事業費	25,570,000	27,263,000
直接出版費	14,254,000	14,965,000
別刷印刷費	998,000	2,080,000
人 件 費	4,100,000	4,000,000
謝 金	3,918,000	3,918,000
送料運搬費	2,000,000	2,000,000
消 耗 品 費	200,000	200,000
雑 費	100,000	100,000
天文月報発行事業費	15,400,000	18,850,000
直接印刷費	7,200,000	10,520,000
別刷印刷費	800,000	800,000
人 件 費	1,300,000	1,300,000
謝 金	2,600,000	2,330,000
送料運搬費	2,700,000	3,100,000
消 耗 品 費	500,000	500,000
雑 費	300,000	300,000
年会事業費	8,300,000	7,550,000
予稿集印刷費	2,000,000	2,000,000
謝 金	1,150,000	1,150,000
送料運搬費	250,000	300,000
会 場 費	2,400,000	1,650,000
消 耗 品 費	300,000	300,000
人 件 費	1,300,000	1,300,000
雑 費	200,000	150,000
旅費交通費	300,000	350,000
保育室運営経費	200,000	200,000
ジュニアセッション経費	200,000	150,000
管 理 費	19,970,000	18,310,000
人 件 費	7,500,000	7,500,000
謝 金	500,000	250,000
会 議 費	200,000	250,000
負 担 金	0	100,000
旅費交通費	950,000	1,000,000
送料通信費	1,300,000	950,000
什器備品費	1,000,000	1,000,000
消 耗 品 費	1,100,000	1,100,000
印刷製本費	700,000	500,000
光熱水料費	250,000	300,000
賃 借 料	1,750,000	2,100,000
保 険 料	150,000	240,000
諸 手 数 料	500,000	500,000
修 繕 費	100,000	100,000
書籍購入費	150,000	100,000
特別企画調製費	200,000	200,000
公開講演会諸経費	1,320,000	1,100,000
天体発見賞等経費	700,000	770,000
雑 費	200,000	250,000
学術交流費会計へ繰入	1,400,000	0
退職金支出	0	0
特定預金支出	1,208,000	708,000
減価償却預金引当支出	1,000,000	500,000
退職引当預金支出	208,000	208,000
予 備 費	24,420,603	19,370,579
当期支出合計(C)	94,868,603	92,051,579
当期収支差額(A)-(C)	-22,550,803	-18,709,579
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	0

《特別会計》

(単位:円)

会計種目	科目	予算額	前年度予算額
学術交流費 会 計	収入の部		
	賛助会員会費収入	1,200,000	1,440,000
	一般会計より繰入収入	1,400,000	0
	受取利息	100	100
	当期収入合計(A)	2,600,100	1,440,100
	繰越収支差額	828,458	1,886,810
	収入合計(B)	3,428,558	3,326,910
	支出の部		
	学術交流費	1,400,000	2,000,000
	雑 費	1,000	1,000
	当期支出合計(C)	1,401,000	2,001,000
	当期収支差額(A)-(C)	1,199,100	-560,900
	次期繰越収支差額(B)-(C)	2,027,558	1,325,910
	内地留学 奨学会計	収入の部	
受取利息		1,000	7,000
当期収入合計(A)		1,000	7,000
繰越収支差額		3,876,006	4,219,218
収入合計(B)		3,877,006	4,226,218
支出の部			
奨学金支出		250,000	250,000
雑 費		2,000	1,000
旅費支出		10,000	10,000
当期支出合計(C)		262,000	261,000
当期収支差額(A)-(C)		-261,000	-254,000
次期繰越収支差額(B)-(C)	3,615,006	3,965,218	
研究奨励賞 会 計	収入の部		
	寄付金収入	10,000	100,000
	受取利息	50	500
	当期収入合計(A)	10,050	100,500
	繰越収支差額	5,471,909	5,721,070
	収入合計(B)	5,481,959	5,821,570
	支出の部		
	研究奨励賞賞金	300,000	200,000
	雑 費	15,000	30,000
	旅費支出	20,000	40,000
当期支出合計(C)	335,000	270,000	
当期収支差額(A)-(C)	-324,950	-169,500	
次期繰越収支差額(B)-(C)	5,146,959	5,551,570	
早川幸男 基金会計	収入の部		
	寄付金収入	1,000,000	1,000,000
	受取利息	7,000	30,000
	当期収入合計(A)	1,007,000	1,030,000
	繰越収支差額	28,089,640	23,375,711
	収入合計(B)	29,096,640	24,405,711
	支出の部		
	研究補助支出	2,700,000	2,700,000
	雑 費	10,000	10,000
	当期支出合計(C)	2,710,000	2,710,000
当期収支差額(A)-(C)	-1,703,000	-1,680,000	
次期繰越収支差額(B)-(C)	26,386,640	21,695,711	

(単位:円)

会計種目	科目	予算額	前年度予算額
林忠四郎賞 会 計	収入の部		
	受取利息	3,000	20,000
	当期収入合計(A)	3,000	20,000
	繰越収支差額	14,360,857	16,107,937
	収入合計(B)	14,363,857	16,127,937
	支出の部		
	林賞賞金	300,000	300,000
	雑 費	20,000	10,000
	旅費支出	150,000	150,000
	当期支出合計(C)	470,000	460,000
	当期収支差額(A)-(C)	-467,000	-440,000
次期繰越収支差額(B)-(C)	13,893,857	15,667,937	
創立100周年 記念出版事業 会 計	収入の部		
	受取利息	100	
	当期収入合計(A)	100	
	繰越収支差額	30,000,022	
	収入合計(B)	30,000,122	
	支出の部		
	出版経費	0	
	雑 費	60,000	
	旅費支出	400,000	
	当期支出合計(C)	460,000	
	当期収支差額(A)-(C)	-459,900	
次期繰越収支差額(B)-(C)	29,540,122		

オーストラリア、Stromlo 山天文台
募金について(続報)

天文月報6月号にご報告いたしましたように、オーストラリア国立大学 Stromlo 山天文台の山火事被災に関して、天文台復興のための寄付を多くの皆様よりいただきました。さらにその後、会員の方より10万余円の寄付をいただきました。オーストラリアドルにしてAUD1,266.07をオーストラリア国立天文台、Mt Stromlo Redevelopment Fundへ送金いたしました。寄付をいただきましたことを感謝いたしますとともに、ここにご報告させていただきます。

日本天文学会理事長 松田卓也

[第3号議案]

第15期日本天文学会評議員候補者

任期：2004年1月1日～2007年12月31日

定款及び評議員選挙施行細則に基づき、選挙管理委員会は2003年5月23日～6月20日を投票期間として行いました。6月23日に開票作業を行い、以下の結果を得ましたので報告致します。

評議員候補者名 10名
(五十音順、敬称略、*印は現評議員)

安東正隆、家 正則*、池内 了*、梅村雅之
大橋隆哉、小杉健郎*、佐藤勝彦*、谷口義明*
観山正見、山本哲也

[報告1]

創立100周年記念出版事業編集委員会メンバー

*印の方は今回増員の方4名です

岡村定矩 (東京大学)	(委員長; 銀河・銀河団)
祖父江義明* (東京大学)	(銀河・銀河団)
佐藤勝彦 (東京大学)	(宇宙論, 初期宇宙)
池内 了 (名古屋大学)	(宇宙論, 構造形成)
観山正見 (国立天文台)	(理論, シミュレーション)
二間瀬敏史* (東北大学)	(理論, 重力レンズ, 重力波)
福井康雄 (名古屋大学)	(電波, 星形成, 星間物質)
桜井 隆 (国立天文台)	(太陽, 宇宙電磁流体力学)
野本憲一 (東京大学)	(恒星, 化学進化)
家 正則 (国立天文台)	(光・赤外, 地上観測)
舞原俊憲 (京都大学)	(赤外線, 観測装置)
井上 一 (宇宙科学研究所)	(スペース観測)
小山勝二 (京都大学)	(X線, 高エネルギー)
渡部潤一 (国立天文台)	(太陽系, 系外惑星)
福島登志夫 (国立天文台)	(位置天文, 天体力学)
水本好彦* (国立天文台)	(データベース, ネットワーク)
長谷川哲夫* (国立天文台)	(電波, 観測装置)

[報告2]

要望書—天文学に関する社会教育施設の充実— (P.508
参照)

【理事会議事録】

日時：2003年6月28日(土) 11時00分～15時30分
場所：国立天文台(三鷹)南館一階大会議室

出席者：松田, 祖父江, 若松, 杉山, 郷田, 関井,
蜂巢, 土橋, 土居, 田, 谷口, 粟木, 佐藤

欠席者：松原, 花見

有効委任状提出者：松原

他に, 東條事務長が参加した。

議事に先立ち, 署名人を選出した。

議長：松田卓也

署名人：杉山 直, 郷田直輝

報告

1. 前回議事録の確認(資料1)

杉山理事より前回(2003年3月24日)の理事会議事録が報告され, 原案通り承認された。

2. 2003年秋季年会について

粟木理事より準備状況について報告があった。松山コンベンションビューローから50万円の補助金があることになった。

3. 第1回記念出版編集委員会の報告(資料2)

6月14日に行われた表記委員会について, 郷田理事から報告があった。学部レベルも意識した院生, 研究者向けの日本語の教科書, 全15巻程度を考えている。日本天文学会創立100周年に合わせて2008年3月の総会までに全巻の完成を必須とする。15巻の構成や内容のたたき台を考えた。また, 各巻を数人が責任編集する体制をとることとし, すべての巻の編集者に編集委員が少なくとも一人は入ることとした。今後は, 各巻の編集者を決め, 各巻の内容を吟味し, 第1次案を作成。その後, 広く会員の意見を聞く予定。

4. 第19期日本学術会議天文学研究連絡委員会委員候補者及び第15期評議員候補者選挙結果について(資料3)

選挙結果が杉山理事より報告された。天文学研究連絡委員会委員候補者に関しては, 第18期天文学研究連絡委員会池内委員長に選挙結果を報告済みである。

5. その他

(ア) PASJ 製本費の超過請求について(資料4)

蜂巢 PASJ 編集委員長より, ページ・エンタープライゼス株式会社からの製本費の超過請求に関して, 事情説明があった。カラー印刷の経費について, 上乘せして請求していたが, 実際には印刷工程の見直しにより, 当初見積りより経費を低く押えられたので, 結果的に超過請求した事になった。超過請求金額 392,000 円を, 今後の出版の「値引き」とし

て処理することを編集部として了承した。

(イ) PASJ 海外取次店倒産の件

前回理事会で報告があった、海外取次店倒産の影響による PASJ の無料配布は、総計 7 件にとどまることが、蜂巢 PASJ 編集委員長から報告があった。

(ウ) 学術交流費の注記について (補足資料)

関井理事より、年会参加旅費補助に関する若手の会からの申し入れについて説明があった。補助率が低下しても、補助の存続を望むこと、個人負担額の地域格差を減らして欲しいこと、年会申込用紙に、補助が受けられる条件を明記すること、などの要望があった。学術振興会の特別研究員を補助対象外として申込用紙に明記することについて議論があり、明記することを了承した。

議 題

1. 新入会員の承認 (資料 5)

杉山理事より、資料に基づき新会員の入会が報告され、承認された。あわせて、退会者の報告があった。

2. 記念出版編集委員について (資料 6)

祖父江義明 (東京大学)、二間瀬敏史 (東北大学)、水本好彦 (国立天文台) の三氏が新しく記念出版編集委員として認められた。また理事会との連絡を、祖父江副理事長が務めることを了承した。

3. 2004 年秋季以降の年会について

2004 年秋季年会について、9 月 21 日(火) から 23 日(木) という日程を承認した。2005 年春季年会について、組織体制について意見交換を行った。

4. 2004 年度事業計画案 (資料 7)

杉山理事より資料に基づいて、事業計画案が説明され、承認された。PASJ の増刊について、蜂巢編集委員長から将来の月刊化を視野に入れて増刊を 2 号予定している旨の補足説明があった。谷口理事から、2003 年春季年会公開講演会を出版する可能性について提案があり、意見交換を行った。

5. 2004 年度収支予算案 (資料 8)

関井理事より資料に基づき、収支予算案が説明された。学術交流費会計に関して、来年度支出 (予算額) に相当する 140 万円 (2002 年度収入より算定) を一般会計から借り入れるという提案に対して、意見交換が行われ、了承された。賛助会員会費収入が減少している現状では、その範囲内で支出していくしかない、という結論に達した。賛助会員のメリットとして、年会で名前を大きく掲示するという提案があった。予算案は原案通り承認された。

6. 秋季通常総会議題

杉山理事より、秋季通常総会議題として、2004 年度事業計画案、2004 年度収支予算案、新評議員選出、が提案され、承認された。

7. 声明：天文・宇宙に関する社会教育施設の充実のために (資料 9)

前回の理事会で再検討をすることとなっていた声明文に関して、若松副理事長、佐藤理事、黒田氏によって修正された案が提出され、若松副理事長から説明があった。要求内容をもっとはっきりさせる、学校教育についても言及すべき、など多くの修正意見が出され、声明ではなく要望書として、さらに修正した版を評議員会に提案することになった。

8. 名誉会員について

名誉会員の制度の活用について、杉山理事が前回の評議員会での意見交換を紹介した。意見交換の結果、今回は見送る、という結論に達した。

9. その他

(ア) 男女共同参画学協会連絡会からのアンケート調査について

標記アンケート調査に天文学会としても参加するという要請が加藤万里子氏よりあった旨、杉山理事が報告した。意見交換の後、認められた。

(イ) 次回理事会を 9 月 25 日(木)、秋季年会会場において昼休み中に開催することとした。

2003 年 7 月 29 日

議 長 松田卓也 印
署名 杉山 直 印
署名 郷田直輝 印

【評議員会議事録】

日時：2003 年 7 月 5 日(土) 11 時 00 分～14 時 35 分

場所：国立天文台 (三鷹) 南館一階大会議室

出席者：井上、太田、海部、小山、須藤、千田、

高橋、舞原、牧島、家、石黒、木下、高津、小杉、

佐藤 (勝)、谷口、長谷川、松田、渡部 以上 19 名

欠席者：岡村、加藤、柴田、高原、福井、吉井、

池内、佐藤 (修)、中村、野本、林 以上 11 名

有効委任状提出者：岡村、柴田、高原、池内、

佐藤 (修)、林 以上 6 名

他に理事会から、祖父江、杉山、郷田、関井理事、また東條事務長が参加した。

議事に先立ち、議長及び署名人を選出した。

議長：石黒正人

署名人：舞原俊憲、千田篤史

報 告

1. 前回議事録の確認 (資料 1)

杉山理事より前回(2003年3月25日)の評議員会議事録が報告され、一部字句修正の上承認された。

2. 2003年秋季年会について

栗木理事の代理として、杉山理事より準備が順調であるとの報告があった。松山コンベンションビューローから50万円の補助金がでることになった。

3. 第19期日本学術会議天文学研究連絡委員会委員候補者及び第15期評議員候補者選挙結果について(資料2)

選挙結果が杉山理事より報告された。天文学研究連絡委員会委員候補者に関しては、第18期天文学研究連絡委員会池内委員長に選挙結果を報告済みである。選挙に関して、投票率を上げる努力が必要との指摘があった。関連して、学術会議の今後の改革案について海部評議員から報告があった。学術会議はこれまでと異なったトップダウン的な、総合科学技術会議をサポートする機関に変わろうとしているとのこと。これについては秋の年会で特別セッションが行われる予定。続いて意見交換が行われた。

4. 100周年記念出版事業、第1回編集委員会の報告と編集委員3名の増員について(資料3)

6月14日に行われた表記委員会について、郷田理事から報告があった。学部レベルも意識した院生、研究者向けの日本語の教科書、全15巻程度を考えている。日本天文学会創立100周年に合わせて2008年3月の総会までに全巻の完成を必須とする。15巻の構成や内容のたたき台を考えた。また、各巻を数人が責任編集する体制をとることとし、すべての巻の編集者に編集委員が少なくとも一人は入ることとした。今後は、各巻の編集者を決め、各巻の内容を吟味し、第1次案を作成。その後、広く会員の意見を聞く予定とのこと。評議員より、編集委員の増員の具体的な提案が一件あった。すでに、6月28日に行われた理事会にて祖父江義明(東京大学)、二間瀬敏史(東北大学)、水本好彦(国立天文台)の三氏が新たな編集委員として認められたとの報告が杉山理事よりあった。ここで提案のあった、さらなる増員に関しては、次回の理事会で検討する。

5. 正会員(学生)への旅費補助について(補足資料)

高橋評議員から若手の会の調査結果について報告があった。大多数の研究室では、実費の10%から20%程度をカバーする補助しかでていない、というのが現状であり、学会からの旅費補助は今後も必要であるとのこと。

6. その他

(ア) 国立大学法人法に付帯決議を

佐藤(勝)評議員より、国立大学法人法の参議院での採決に向け、参議院議員を対象とする陳情を行っていることについて報告があった。学術研究(特

に基盤的研究)に関しては、短期的視点に立った評価に基づく配分をしない、大学附置の共同利用研究所センター、国立の研究所は、大学を超えた共同研究の拠点として中核的役割を果たしているため研究の組織的基盤を財政的に確保すること、という付帯決議をつけてもらうことを目指しているとのこと。天文学、さらには理学部などの基礎科学を支える部分を大学に残していくためにはどうしたらよいかという点について、意見交換があった(補足:参議院文教科学委員会での法案の採決にあたって、異例ともいえる23項目にわたる付帯決議が付された。その14項を次にあげておく。十四. 国立大学附置研究所については、大学の基本的組織の一つであり、学術研究の中核的拠点としての役割を果たしていることにかんがみ、短期的な評価を厳に戒めるとともに、財政支出の充実に努めること。また、各研究組織の設置・廃止や全国共同利用化を検討するに当たっては、各分野の特性や研究手法の違いを十分尊重し、慎重に対応すること)。

(イ) 催しの報告

物理学会科学セミナー「宇宙を見る新しい目」が8月22日、23日に東京大学で行われる。大学と科学公開シンポジウム、「宇宙の誕生と未来」が1月31日、2月1日に講演会、朝日マリオンで行われる。これに関しては、天文学会に後援依頼が来る予定である。

議 題

1. 2004年度事業計画案(資料4)

杉山理事より資料に基づいて、事業計画案が説明され、承認された。PASJの増刊について、具体的にどのような形での増刊を考えているのか、例えば号数を増やすのか、一つの号を二つにわけるとか、質問があった。蜂巢PASJ編集委員長より、将来の月刊化を視野に入れての増刊であり、実質的に8号を意味する、また増刊は特集を予定しているとの説明が、書面にて行われた。

2. 2004年度収支予算案(資料5)

関井理事より資料に基づき、収支予算案が説明された。学術交流費特別会計に関して、来年度支出(予算)額に相当する140万円(2002年度収入より算定)を一般会計から借り入れるという提案に対して、意見交換が行われた。一般会計から移算をした方がすっきりしているとの提案があり、これは今回限りとする、今後賛助会員を増やす努力を続けること、各研究機関でも学生に対する旅費補助の努力を行うこと、という条件の下、一般会計から借り入れるのではなく、移算するように修正された。修正された収支予算案が総会の議案として提案される。関連して、学術交流費の減

少傾向や、会員（学生）に対する旅費補助のあり方に関して、意見交換がおこなわれた。賛助会員になるメリットを目に見える形にするために、天文学会ホームページに賛助会員リストを載せたらどうかという提案や、旅費補助に関して、各機関からのサポートの努力は最大限行われているのかなどの疑問が出された。

3. 秋季通常総会議題（資料6）

杉山理事より、秋季通常総会議題として、2004年度事業計画案、2004年度収支予算案、新評議員選出、が提案され、承認された。

4. 総合科学技術会議に対する声明文について

佐藤（勝）評議員より、草案はほぼできあがっているが、最後の詰めの部分で物理学会の対応が遅れているとの説明があり、意見交換が行われた。法人化をにらんで早急な対応が望まれるので、天文学会理事長からの要請を行うべきであるとの意見がだされ、理事長が対応することとなった。

5. 要望書：天文・宇宙に関する社会教育施設の充実のために（資料7）

春の年会での理事会、評議員会で再検討をすることとなっていた声明文に関して、提案者の黒田氏、さらに理事会より依頼された若松副理事長、佐藤理事によって修正された案が6月28日の理事会に提出された。理事会で、さらに一部修正を施した要望書案が、資料7として提出された。一部添削を必要とするとの意見が複数の評議員から出され、評議員からの修正意見を加えて、理事長、副理事長が最終的にまとめ、関連機関に送付するという事になった。さらに、この要望書の発表の形態として、国立天文台広報普及室と連携し、理事長出席の下に記者会見をすることとなった。その際に、追加資料として閉館したプラネタリウムリストなどを用意すること、また、天文学会としても、講師派遣や年会における天文教育フォーラム、ジュニアセッションなどを通じて、この問題にこれまでも積極的に取り組んできたことを強調すべきであるなどの意見が出された。

6. 名誉会員について

名誉会員の制度の活用について、杉山理事が前回の評議員会での意見交換を受けて、理事会では当面は見送る、という結論に達したことが報告され、了承された。

7. その他

(ア) 次回評議員会を9月26日(金)、秋季年会会場において昼休み中に開催することとした。

2003年7月17日

議長 石黒正人 印
署名人 舞原俊憲 印
署名人 千田篤史 印

第19期日本学術会議会員について

日本学術会議会員推薦管理会委員長より、日本天文学会から推薦した池内 了氏(天文学研究連絡委員会)が第19期日本学術会議会員に、同補欠の会員として海部宣男氏が決定したとの通知がありましたので、会員の皆様にお知らせ致します。

庶務理事 杉山 直

男女共同参画アンケートへのご協力の一正会員のみなさまへ

このたび、日本天文学会の加盟している男女共同参画学協会連絡会で、研究者の男女共同参画に関するアンケート調査を実施することになりました。この連絡会は昨年10月に結成され、約30の理工系学協会の連携により、男女共同参画をすすめるための活動をしています。アンケートは、文部科学省生涯学習政策局の委託のもとに、加盟学会の会員を対象として、科学技術系専門職の方々の男女共同参画に関する調査をおこなうことが目的です。さまざまな専門分野の技術者・研究者の方々の実態や意識に関するデータは、各学協会の男女共同参画をすすめ、行政施策への提言をするための重要な基礎データとなります。結果は統計資料として連絡会の提言とともに公表いたします。みなさまのご協力をお願いいたします。

なお、本アンケートは科学技術研究者のおかれている現状を把握するためのものであり、個人の特定は一切いたしません。また、目的外の使用もいたしません。

〈アンケートについて〉

対象者：正会員全員（男女とも）

回答：webで回答して下さい。URLアドレスは日本天文学会のWebページにリンクします。

<http://www.realgraph/researchers/>

回答期限：8月20日～10月31日

注意：物理学会など他の加盟学会も同一の調査を行います。複数の学会に入っている方は、回答は一人一回のみでお願いします（学会名をチェックする欄で会員になっているすべての学会をチェックして下さい）。

天文教育委員会 加藤万里子

本会へ2003年3月25日から6月28日までの間に入会された方、退会された方をお知らせします。

*正会員入会者(44名)

美濃和陽典	東大・大学院理(在学)/国立天文台	黒水玲子	九州大・大学院(在学)
井澤寿予	金沢大・大学院(在学)	鳥羽弘之	京大・大学院理(在学)/国立天文台
エハメティレテブ	東大・大学院理(在学)	太田方之	学習院大・大学院(在学)/宇宙科学研究所
岡島礼奈	東大・大学院理(在学)	松尾 圭	千葉大・大学院(在学)
銭谷誠司	東大・大学院理(在学)	石津尚喜	国立天文台
二間瀬敏史	東北大・大学院理	高橋 茂	台湾国立中央大・天文研究所
井田 茂	東京工業大・大学院理	山本真行	高知工科大
金 宇征	東大・大学院理(在学)	山田 誠	都立清瀬小児病院
斉藤卓弥	東大・大学院理(在学)	斉藤祥行	京大・大学院理(在学)
祖谷 元	早稲田大・大学院(在学)	春日敏測	総研大(在学)/国立天文台
猿楽祐樹	東大・大学院理(在学)/宇宙科学研究所	花山秀和	東大・大学院理(在学)/国立天文台
加藤知弘	関西学院大・大学院理(在学)	野沢超越	新潟大・大学院理(在学)
赤堀卓也	東京都立大・大学院理(在学)	白浜公平	東大・大学院理(在学)
鶴澤政美	青山学院大・大学院(在学)	眞山 聡	早稲田大・大学院(在学)/国立天文台
固武 慶	東大・大学院理(在学)	額賀 理	北海道大・大学院(在学)
村岡和幸	東大・大学院理(在学)	榊原誠一郎	鹿児島大・大学院(在学)
加藤陽平	北大・大学院(在学)	並木優子	茨城大・大学院(在学)
古田裕典	北大・大学院(在学)	大川洋平	立教大・大学院理(在学)
金井淳一	立教大・大学院理(在学)	浦川聖太郎	神戸大・大学院(在学)
田中賢幸	東大・大学院理(在学)	山岡健太郎	名大・大学院理(在学)
齋藤雄二	東海大・大学院理(在学)	田中 実	千葉大・大学院理(在学)
園部芳雅	千葉大・大学院理(在学)	富永 望	東大・大学院理(在学)

*準会員入会者(8名)

桜井郁也	理化学研究所	渡邊勇介	山形大(在学)
木村守孝	通信総合研究所鹿嶋	板 由房	東大・大学院理(在学)
飯塚礼子	オフィス飯塚	谷川八大	茨城大・大学院(在学)
谷川享行	Academia Sinica	三戸洋之	東大・木曾観測所

*団体会員入会(1団体)

川口市立科学館

*移籍会員

[準→正](3名)

水本好彦	国立天文台	鈴木由秀	放送大学(株)ルネサスデバイスデザイン
川埜直美	広島大・大学院理(在学)		

[正→準](2名)

新田伸也 池田美穂

*正会員退会者(6名)

黄 文宏	今泉 智	海老秀一
大石智広	菅野 愛	山口正博

*賛助会員退会者(2社)

裳華房
(株)日立ハイシステム 21 マルチメディア応用システム部

*準会員退会者(5名)

池見和身 石川 薫 倉谷 寛 小山亜希子 吉田久美

編集委員 土橋一仁(編集長), 上田暁俊, 大石奈緒子, 太田耕司, 亀野誠二, 濤崎智佳, 藤田 裕, 洞口俊博, 増田 智
平成15年8月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献印刷社
定価700円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
Tel: 0422-31-1359(事務所) / 0422-31-5488(月報・欧文編集) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595
日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 E-mail: toukou@geppou.asj.or.jp DTP: 峯尾由紀子